

FACE

あおもりエコノミー

147

張間 翔氏(37)

ミライフル(八戸)代表取締役社長

△はりま・しょうづ 1988年、青森市生まれ。青森工業高校卒業後、東京都内の介護関連企業に就職。2014年9月に八戸市でミライフルを創業。介護支援相談員、介護福祉士。全国介護事業者連盟北海道・東北ブロック支部幹事兼青森県支部長も務める▽



株式会社
 介護サービス
 訪問入浴
 訪問看護
 サービス
 地域包括
 い福祉サ
 居宅介護
 共同生活
 放課後等
 サルティ
 ■介護資格
 ■M&A 仲介

未来の福祉へ課題解決

八戸市内に10拠点を開き、訪問介護や放課後等デイサービスなど23事業を展開する「ミライフル」の社長。社名に込めた意味は「未来が全て」。介護や障がい福祉の各サービスを軸に、人材育成やコンサルティング事業も手がける。「少子高齢化や老老介護などの社会課題を解決する企業になりたい」と語る。高校時代に起業・創業に関する本を読み、経営者になる夢を抱いた。卒業後は「早く実務経験を積んで会社経営に近づきたい」と、高校の求人票にあった介護事業を展開する東京証券取引所1部上場企業(当時)に入社した。介護に関する知識はほとんどなかったが、介護福祉士の資格を取得するなど専門知識を身に付けた。利用者の「ありがとう」の言葉でやりがいも高まった。28歳の時、経営者の夢を介護業界でかなえたいと会社を退職、独立した。

八戸を拠点に選んだのは、人口密度が高いことで「移動距離が短く、サービスに割く時間を確保できる」ため。自宅の浴槽では入浴が困難な高齢者や障がい者のため、簡易浴槽を持ち込んで体や髪を洗う「訪問入浴介護」に着目し、同事業を始めた。市内では当時、実施している事業所が少なかったという。

訪問入浴介護の事業所は現在2カ所。専用車両は市内最多の計4台を保有し、1台当たり看護師1人とスタッフ2人で入浴の介助を行う



訪問入浴介護のイメージ。看護師1人とスタッフ2人で入浴の介助を行う

スタッフ2人で利用者宅を訪れ、入浴を支援する。「(通常は困難な入浴が当たり前でできる)利用者さんの感動を、常識にしていきたい」と力を込める。業界全体が人手不足に悩む中、働きながらスキルアップ可能な体制の構築にも取り組む。介護福祉士などの資格取得をサポートする養成施設を開き、自身らも資格の講師陣が指導。スタッフの資格取得費用は会社が全額負担している。2022年には介護・福祉分野に特化した合併買収

(M&A)の件介事業も開始した。売り手と買い手のマッチングを行い、後継者不足や事業拡大に悩む会社や法人を支援。これまでに着手した7件のうち4件が成立した。今年から、放課後等デイサービスや共同生活援助などの障がい福祉事業にも注力している。スタッフは現在約100人弱。規模拡大により、大手企業との連携などで新たな事業展開が見込めるとして「東証上場を目標に、県内全域で事業を展開したい」と意欲を語る。「そのために、まずは八戸市で事業数、店舗数ともにナンバーワンを目指したい」

(棟方好華) ※「FACE あおもりエコノミー」は今回で終了します。